家畜衛生広報 佐久

2021_No. 8

しあわせ信州

佐久家畜保健衛生所
〒385-0035 佐久市瀬戸中庭 1111-179
TEL:0267-62-4123 FAX:0267-63-3002
東信家畜畜産物衛生指導協会

令和３年(2021 年) ９月９日

～ 豚熱が発生し感染が拡大して3年 ～
あらためてワクチン接種の励行と飼養衛生管理の徹底を！

2018 年９月に岐阜県で豚熱（CSF）の発生が確認されて以降、本県を含めて 14 県・71 事例が発生（25 万３千頭余の豚が殺処分）。一方、CSF ワクチン接種推奨地域は、北は青森県、南は岡山県・鳥取県そして四国４県の36 都府県にまで拡大。

「ワクチンを打てば抗体価が上がる」とされていた昔と違い、今はワクチン接種農場でも、接種のタイミングなどによって CSF が発生している状況！

豚熱発生から３年となるのを機に、あらためて対策を徹底していきましょう！！

衛生管理上の重点対策

「豚舎内にウイルスを入れないこと、豚にウイルスを接触させないこと」

- 衛生管理区域への野生動物の侵入防止＆人や車両の進入時の衛生対策
  （防護柵の点検・補修、タイヤの溝等は十分な圧力のある動力噴霧機等により適切に洗浄・消毒）
- 作業着、手袋及び長靴の交換＆交差汚染の防止
  （衛生管理区域に入る者の衣服の交換、豚舎ごとに手指の洗浄・消毒や手袋の交換・靴や衣服の交換）
- 敷料の衛生対策
  （敷料を保管する際、建屋やシートによる被覆、防鳥ネット設置等で野生鳥獣の接触を遮断）
- 農場内作業動線及び作業手順
  （豚の移動時、屋外の通路の清掃・消毒の徹底は困難であるため、可能な限り消毒済みのケージ等を利用）
- 消毒液の交換頻度
  （消毒する前に泥や糞便などを落とし、消毒薬が汚れた場合には直ちに交換）

CSF ワクチンによる予防

「子豚へ適切なタイミングで接種し、できる限り"免疫の穴"を作らないこと」

- 初回接種で始めて免疫付与された「第一世代母豚」は、第一世代母豚から生まれた「第２世代母豚」と比べ抗体量が多い傾向があり、子豚の移行抗体の量にも差異があるため、いわゆる「ワクチンブレーク」を引き起こす可能性があります。
- 家保ではワクチン接種適期は農場ごと母豚等の免疫付与状況確認を行い、更新状況等を踏まえて、生後１～２ヵ月齢の間で柔軟に対応しますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

次の症状の豚が通常より増加した場合には佐久家保（0267-67-4123）へ御連絡ください。

①発熱、元気消失、食欲減退　②便秘、その後の下痢　③結膜炎(目やに)
④歩行困難、後躯麻痺、けいれん　⑤耳翼、下腹部、四肢などのチアノーゼ
⑥削痩、被毛粗剛(ヒネ豚)　⑦異常産の発生　⑧ ①～⑦のいずれかを伴う死亡